

## 第 6 回日野市指定管理者候補者選定委員会議事要点録

日 時	平成 26 年 8 月 8 日（金）午後 1 時 30 分～午後 3 時 30 分
場 所	市役所 4 階 庁議室
出席者	坪島委員長、岩崎委員、岡村委員、高橋委員、渡邊企画部長、篠崎総務部長、大島子ども部長
議 題	<p><b>日野市立みなみだいら児童館ぷらねっと応募者によるプレゼンテーション</b></p> <p>1.本日の流れ、審査手順説明</p> <p>2.審査 1（日野市立みなみだいら児童館ぷらねっと：公益財団法人 社会教育協会日野社会教育センター） 審査 2（日野市立みなみだいら児童館ぷらねっと：A 社）</p> <p>3.次回の説明</p>
議題 1	<p>● <b>本日の流れ説明、審査手順の説明</b></p> <p>事務局（企画調整課）より説明。</p> <p>（1）日野市立みなみだいら児童館ぷらねっとの応募事業者のプレゼンテーション</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業者（公益財団法人 社会教育協会日野社会教育センター及び A 社）による説明 15 分</li> <li>・事業者及び主管課（子育て課）への質疑 20 分</li> <li>・採点 10 分</li> </ul> <p>（2）選定結果及び決定について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・次回報告する。</li> </ul>
議題 2	<p>● <b>審査 1</b></p> <p>（日野市立みなみだいら児童館ぷらねっと：公益財団法人 社会教育協会日野社会教育センター） 事業計画書に基づくプレゼンテーション</p> <p>=主な質疑=</p> <p>（質問）高校生の利用が 60%減ったとあるが、子供は成長し時期がくれば卒業すると考える。減らないよう事前の対策はできなかったのか。</p> <p>（回答）一昨年、利用していた高校生が卒業した。長年利用者が多かった学年でもあったため、高校生の利用者数の減少になった。現在、その卒業した人たちは引き続きボランティアとして児童館を利用している。また、現在、新たな高校生に利用していただけるよう地道に取り組んでいる。夏休みになり、南平高校の生徒の利用も増えてきている。</p> <p>（要望）日野社会教育センターは、国際交流に力を入れているので、児童館活動にも活かしてほしい。</p> <p>（質問）椅子式昇降機検査手数料は、年 1 回の検査か。</p> <p>（回答）2 年前までは年 1 回であったが、建築基準法の改正により法定点検年 1 回、四半期ごとの定期点検が年 4 回になった。</p> <p>（質問）経費削減の中で、日野社会教育センターで使用している機材を有効活用していると</p>

はあるか。

(回答) キャンプで使用するテントを有効活用している。

(要望) ケガや事故の対応について、救護や保護者への連絡など迅速に行っているが、今後も引き続きしっかりと対応してほしい。

(質問) 昨年度の利用者数は何人か。

(回答) 平成 25 年度 24,000 人。

(質問) その人数は目標（計画）に対し、どのような値であったか。

(回答) 目標の 22,000 人はクリアーしている。

(質問) 人員配置は常時何人いるか。

(回答) 非常勤を含めると 1 日あたり 5、6 人の勤務している。

(質問) 収支計画書の中で、本部経費は計上しているか。

(回答) 人件費（常勤）の中に、本部経費が含まれている。

(質問) 支出額に占める消費税の割合が高い。その中に本部経費が含まれているのか。

(回答) 含まれていない。支出に計上されている消費税額は、収入の預かり消費税から管理費や運営費に含まれる消費税（支払い消費税）を引いた額を掲載している。この金額を税務署に申告している。今後、収支計画書のわかりやすい記載の仕方も含め考えていきたい。

(質問) IT を利用した試みとあるが、収支計画書には計上されていないが支出額を伴うものではないのか。

(回答) 普通のパソコンでできる範囲のことである。

(質問) 最近、子供の貧困ということが出てきているが、現場での実感はあるか。また子供の貧困に対するフォローなどを具体的に児童館として考えているか。

(回答) 社会や家庭の状況が子供達に出ていると感じる。例えば夏休みに来る子供の中には、お昼ご飯を食べない児童がいる。保護者が見ないそういった子供が中高生になったとき、進路や学習は誰が見るのかといった問題もある。現状として、学力不足もある。中学校の受験勉強の支援など、できる範囲で行っている。格差があることを感じている。個々の問題として、関係機関と協力して対応しているが、今後も常に何ができるか考えていく。

(質問) 地区センターの利用者との交流はあるか。

(回答) 例えば児童館を利用する乳幼児親子との交流が見受けられる。乳幼児に声をかけてくれたり、子育ての様子を話してくださる方もいる。

(質問) プレゼンテーションの中で、館長の他、2 名の常勤としていたが、申請書には常勤 4 名と記載されているが、どういうことか。また職員の経験年数は何年か。

(回答) 館長 8 年、藤田 8 年、坂口 3 年、もう一人は 2 年。この 1 名は他の場所との兼務のため勤務形態が常勤である。

(要望) ケガや事故の対応については、その後の迅速な対応が大切であるが、そもそもケガや事故が起きないように対応してほしい。

● 審査2

(日野市立みなみだいら児童館ぷらねっと : A 社)

事業計画書に基づくプレゼンテーション

=主な質疑=

(要望) 地域懇談会や児童館事業を通じて、常に地域や関係機関との連携を図っていただきたい。

(質問) 民生児童委員との連携とは、現在児童館が行っている12か月までの乳幼児とその保護者が参加する「すくすくクラブ」事業で連携するということか。

(回答) そのような子育て広場事業で民生児童委員がボランティアで参加するといった方法で連携していく。

(質問) 立川市や八王子市など、日野市周辺に事業展開している。今後、日野市に事業展開していく予定はあるのか。その際、館長や主任クラスの職員は日野市在住の方になるのか。

(回答) 日野市にぜひ事業を展開したく申請した。日野市在住の職員が他市に通っているケースもあるので職員配置は検討したい。

(質問) 高齢者と子育てとの複合施設とあるが、事業の中で特に良い事例はあるか。

(回答) 複合施設ではないが、児童館に高齢者の方をお招きして体操教室を行っている。児童館に来ていただくきっかけをつくり、そこで多世代交流を実践している。

(質問) 名古屋では指定管理を継続でなく終了しているところがあるがどういうことか。

(回答) 名古屋のNPO活動センターでは指定管理を行っていたが、市の施策の見直しにより、直営に準じた運営に変更したために終了した。

(質問) 運営維持費で会議費、集会費、総会費とあるが、その分け方はどうなっているのか。

(回答) 組合員の組織のための分けである。会議とは全国の所長や責任者が集まり行う会議のこと。集会とは様々な分野、例えば高齢者に関するシンポジウムの開催等。総会是一般企業でいう株主総会と同等で組合員の代表者が参加する会議である。

(質問) 椅子式昇降機検査料の回数は何回か。

(回答) 年1回の検査手数料である。

(質問) 間接経費とは何か。

(回答) 全国組織で経営しているため、総本部、地方の16事業本部などの経費である。総務や経理や教育に関わる費用の他、顧問の弁護士や税理士のための費用である。本部は直接的に利潤を生み出さないため、間接経費を計上している。

(質問) 金額の根拠は何か。

(回答) 総本部、地方の16事業本部などの経費は、全国の売上高の約13%から14%。この割合は各事業の経営状況によって変わる。特に公の施設では予算が限られているため、総収入の約10%を間接経費として計上している。

(質問) 計画書に記載されている自主事業は立川市、もしくはみなみだいら児童館を参考にしているのか。

(回答) 自社が実践の中で行っている事業から掲載している。ただし、健康体操は新たな取り組みである。

(質問) 児童館に常時配置される予定の職員数は、常勤 3 名、非常勤 4 名か。

(回答) 非常勤は、常勤がローテーションを組んで休む場合の職員である。また、子供が多い時間帯などは常時 4 名配置する。

(質問) 他市で放課後デイサービス事業を行っているが、特に行政の支援を受けなくても、採算の取れる事業なのか。

(回答) そのとおり。

(質問) 人の確保のため、どのような工夫をしているか。

(回答) 基本的な採用は、一般企業と同様である。その他、地域に根差している問題や課題をみんなで解決するような活動として、シンポジウム等を開催している。そこに集まった人たちで、また新たな課題を見つけ考えていく。そのようなネットワークを活かして、人員の確保につなげている。

(質問) どんな資格の職員を配置するのか。

(回答) 常勤は最低基準第 38 条の資格を基本と考えている。その他の非常勤は、できる限り資格者、もしくはこれから勉強して資格を取る方を優先して採用する。

(質問) 指定管理者が管理している児童館、又は直営の公務員が管理している児童館があるが、指定管理者が管理することで勝っているところはあるか。

(回答) ニーズがあれば、できる限り事業展開できるところ。例えば、先ほどの放課後デイサービスは児童館を利用する障害児の保護者の希望で、共に立ち上げた経過がある。

(質問) 提案された指定管理料は、下げることが可能か。

(回答) 組織の成り立ち上、かかってしまう費用がある。また、そこで働く職員が安心して働くことができるバックアップ体制も必要である。ただし、主管課との協議によって、変更することも可能である。柔軟な対応をしていきたい。

### 議題 3

#### ● 前回採点結果報告、次回の説明

事務局（企画調整課）より説明。

- ・ 前回の採点表の集計表（日野市立たまだいら児童館ふれっしゅ）を事務局から配布した。
- ・ 次回選定委員会について

日時 平成 26 年 8 月 15 日（金）14:30 から

場所 市役所 4 階 庁議室

次回に向けたお願い

～第 6 回日野市指定管理者候補者選定委員会（日野市立みなみだいら児童館ぷらねっと）終了～